

広島本通商店街は百貨店、

金融機関やオフィスビル等が  
建ち並ぶ広島市の中心商業地  
域に立地する、中国・四国地  
域を代表する広域型商店街  
で、一般に「本通（ほんどお  
り）」という呼称で広島市民  
に広く親しまれている。今回  
はこの本通について紹介した  
と思う。本通の長さ（東西  
約577m）で、幅員は約11  
m。原爆ドームや広島平和記  
念公園も程近い場所に立地し  
ている。

被爆で一時は廃墟に

その歴史は古く、江戸時  
代、現在の本通は広島城下を  
横断する西国街道（山陽道）  
の一部で、17世紀に書かれた  
「安芸国広島城所絵図」にも  
広島城の南に東西に延びる赤  
い線がはっきりと描かれてい



昭和の初め頃が最盛期と言われ  
るが、現在も週末には来場客10万人  
ともいわれる本通

る。昭和の初め頃が一番の賑わ

# ～文化的歴史的所産を巡る～ 残したい情景 第44回 広島県広島市

一般財団法人 日本不動産研究所

いだつたと言われ、通りの両  
側に立つすずらん燈が道行く  
人を照らして、夜遅くまで店  
が開いていたとのこと。しか  
し、被爆により広島市の街は壊  
滅状態となり本通も廃墟とな  
ったが、戦後まもなく復興  
を遂げ、1954（昭和29）  
年には初めて通りにアーケー  
ドが設置された。現在のもの  
は可動式で3代目となる。  
週末には家族連れや若者、  
旅行者たちで本通は特に賑わ  
いを見せ、来場客は10万人と  
もいわれ、まっすぐ歩けない  
ほどである。



プロ野球の黒田博樹選手の  
記念石碑も設置されている

大合唱や誰  
彼かまわず  
ハイタッチ  
が繰り返さ  
れた。また、  
日米通算2  
03勝を挙げ  
た多くの  
カープファ  
ンから愛さ  
れる黒田博樹  
選手の記念石  
碑もここに設  
置されている。

顧客の奪い合い

近年、広島市郊外の国道沿  
い等にいくつも大規模な  
ショッピングセンターが立地  
し、自動車に乗ってこれらの  
店で休日を楽しむ家族連れが  
増加しており、大規模郊外店  
舗間、あるいは郊外店舗と旧  
来の中心商業地域の店舗との  
間で顧客の奪い合いが起こっ  
ている。中心市街地に確保さ  
れている駐車場が限られてい  
るため、郊外店舗への顧客の  
分散が本通の空き店舗となっ  
て影響していると考えられる。

## 中四国を代表する広域型商店街 集積度向上へ高度利用を

貴金属等の物販店舗を中  
心に、約200の様々な  
店が、老舗もナショナル  
ブランドも（ちゃ混ぜに）  
立地している。  
広島市民にとって本通  
は、単に買い物をするた  
めの場所ではなく、それ  
以上に愛着のある場所だ  
とある。16（平成28）年の  
プロ野球リーグ戦で25年  
振りにカープが優勝した  
時には、通りを埋め尽くす  
ほどのカープファンが  
集まり、夜通し応援歌の

が、1階を今風の店舗に賃賃  
し、自分たちは立地が劣る2  
階で馴染み客のために商売を  
続けているのだろうか。時代  
の趨勢に逆らうことなく、し  
たたかに生き残る老舗の強さ  
を感じる。

以前はほとんど空き店舗が  
なかったと地元の人はずう  
しかし最近では、ちらほら空き  
店舗が見られる。店舗の賃料  
は坪当たりだいたい3〜7万  
円とされてきたが、賃料の割  
高感が発生しているのかもしれない。

本通は間口の狭いワナギの  
寝床のような店舗が連なっ  
ている。多くの店舗が2〜3階  
建てで、容積率600%であ  
るのに間口のせいで高度利用  
がなされていない。周辺店舗  
が協力して大きなビルを建て  
ることで高層化でき、集積度  
が増すのではないかと、駐車場  
の増設を併せてこれからの課  
題であろう。（中四国支社／  
不動産鑑定士・福田紀夫）

